

第6回円空大賞

Frans KRAJCBERG (フランス・クライスバーグ)

プロフィール

1921年：ポーランドに生まれる（※のちブラジルに帰化）

1945

-47年：ドイツ・シュトゥットガルトのアカデミーでウィリー・バウマイスターに学ぶ

1948

-52年：サンパウロに移住

1952

-56年：パラナのジャングルに一人で住み、製紙工場のエンジニアとして働く

1957年：サンパウロのビエンナーレで絵画部門のグランプリを、さらにリオデジャネイロとサンパウロの現代美術会で1等賞を獲得

1958年：この年よりパリとブラジルで生活

1964年：イタリアのベニス・ビエンナーレで、ベニス市賞を受賞

1972年：ブラジル・バイア州の南部、ノヴァ・ヴィソーザに移り、現在も在住

1973年：サンパウロにて1972年優秀展覧会賞受賞

1978年：ピエール・レストニヤセップ・バーンドレックと共にリオ・ネグロ・マニフェストを作成、署名

1983年：ウルグアイ、モンテネグロの現代アート美術館のイベロアメリカ・ビエンナーレの版画部門において賞を受ける

1986年：マッドグロツソへ旅行。そこで焼畑農業について取材し、「ナチュラ」において写真を公開

1987年：ウォルター・サル・Jrとともにマッドグロツソを旅し、「クライスバーグ～遺跡の詩人」を撮影

1990年：モスクワのエコロジー国際会議に参加

1998年：サンパウロのオ・エスタード紙より、マルチカルチャー賞を受賞

2002年：パリにて、ブラジル大使館よりリオブランコ勲章、コメンダドール位を授与される
パリ市に作品を寄付

2003年：クリチバ市に作品を寄付、クリチバ市の後援により、フランス・クライスバーグ・スペースを公開
パリ市の後援により、モンパルナス美術館にクライスバーグ・スペースを公開



選評

大賞となったフランス・クライスバーグ氏は現代の世界を代表する芸術家であるといつてよいが、それ以上に身をもって文明の誤謬を訴える思想家でもある。1921年、ポーランドの貧しい家庭に生まれた彼の家族全員はホロコーストで殺されるが、彼はソ連兵となったりポーランド兵となったりして生き永らえる。終戦後、ヨーロッパ各地を転々とするが、1948年、ブラジルに移住する。それは、彼が現代のもっとも深い病、自然破壊の病が酷烈に表れた熱帯雨林で生活し、現代文明が生み出した自然破壊の運命の恐ろしさを警告するためである。彼の作品には二つの傾向があるという。一つは、現代の人類の原罪ともいえる自然破壊の不気味さを訴える作品であり、もう一つは熱帯雨林のすばらしさを表す作品である。いずれも抽象的表現方法をとっているが、見る者の心を圧倒せずにはおかない。

